

第88回経営協議会議事要旨

日時：平成31年2月20日（水） 13:30～14:59

場所：事務局1号館4階 特別大会議室

出席者：岡，古賀，田中，吉岡，福田，堀，根ヶ山，白井，三浦，鍋山
安達，今村，梅本，鎌田，齋藤，桜井，下村，末永，竹下，七村，原山

欠席者：杉野，岩田，弘中

アドバイザー：土谷，三石

議題：

I. 議事要旨の確認

学長から第87回経営協議会の議事要旨の確認があり，原案のとおり承認された。

II. 協議事項

1. 国立大学法人を取り巻く最近の動向について

学長から，国立大学法人を取り巻く最近の動向について，協議資料1-1及び1-2に基づき説明があった。

（主な意見及び質疑応答は次のとおり ○は学外委員，◇は学内委員）

○国立大学の一法人複数大学制度について，山口大学として今後どういう形にしていくのか内部で考えを持っておき，組める大学があるのか，あるいはゆるやかな形で連携していくのか，合併の波がくる前から，戦略を練っておく必要があるのではないかと。

○今後はリカレント教育に目を向けて，18歳人口の計だけで大学の入学者数を考えるのではなく，社会人卒を含めて上手く仕掛けを作っていくといけないのではないかと。

◇地域連携プラットフォーム構想を真剣に山口県内で議論すべきであり，何らかの形で最初に手を挙げておかないといけないと考えている。自治体を含め，多くの関係機関と調整していかないといけないので，これからやっていきたいと思っている。

○一法人複数大学制度で，いくつかの大学はプロボスト制を取っていると聞いたことがあるが，山口大学ではそういう構想があるか。

◇プロボスト制について，山口大学には既に経営協議会があり，今後は外部理事の登用も予定しているので，今のところ必要ないと考えている。

III. 審議事項

1. 2019（平成31）年度予算編成方針（案）について

吉岡理事から，2019（平成31）年度予算編成方針（案）について，審議資料1に基づき説明があり，審議の結果，了承され，役員会に諮ることとなった。

併せて，予算の基盤となる運営費交付金の減少を少しでも補うために，外部資金の獲得及び寄附金の増大に努める等，本学の財政基盤の強化に努めている旨説明があった。

2. 国立大学法人山口大学学則及び山口大学大学院学則の一部改正について

古賀理事から，国立大学法人山口大学学則及び山口大学大学院学則の一部改正について，審議資料2に基づき説明があり，審議の結果，了承され，役員会に諮ることとなった。

IV. 報告事項

1. 2019（平成31）年度運営費交付金等予定額について

吉岡理事から，2019（平成31）年度運営費交付金等予定額について，報告資料1に基づき報告があった。

2. 平成31年度一般入試志願状況について

福田理事から、平成31年度一般入試志願状況について、報告資料2に基づき報告があった。

3. 女性比率向上のための取組について

鍋山副学長から、女性比率向上のための取組について、報告資料3に基づき説明があった。

V. その他

1. 山口大学の主な動きについて

伊東総務企画部総務課長から、山口大学の主な動きについて、その他資料1-1及び1-2に基づき報告があった。

2. その他

(主な意見及び質疑応答は次のとおり ○は学外委員、◇は学内委員)

○最初の協議事項でとりあげられた国立大学法人を取り巻く最近の動向について、本当に急激な動きになっているが、このあたりの情報は、地方の各大学にまで共有されているのか。

法人化の時に、文部科学省と東大を中心にやっているのではないかと地方大学から反発があったと記憶している。今回も同様なことがなかったか。

◇これらの資料は、国立大学協会からメールで周知されている。

地方大学という立場から、おかしいということはおかしいとはっきり発言している。聞いてもらえることと聞いてもらえないことがあるが、今後も粘り強く発言していきたいと思っている。

○政策の検討段階で、現場の人に意見を聞く際、東京近辺だけで済ませてしまい、地方大学の先生方の意見を聞かないまま決定してしまうことがよくある。地方大学という立場から周辺の大学を含めて意見を出すことを心がけたほうがいいと思われる。

◇国立大学協会もいろいろ意見をいっているが、ほとんど聞いてもらえていない。1番問題なのは、運営費交付金を競争的運営費交付金にしまうと、毎年毎年予算が変わり、先行きが不透明になるので、中期目標期間が終わり、評価をしてダメだった場合は予算を減らすということをやらないと、長期的な人材育成等もできないのではないかと思う。財務省が全く聞く耳を持たないということで、国立大学全体が追い詰められつつあるという風を感じている。

○印刷された会議資料が多いので、ペーパーレス化したほうがよい。特に重要なものについては印刷された資料でよいと思うが、カラー印刷などはコストで考えたら無駄だと思う。

◇学内委員及び陪席者はペーパーレス化している。今後対応を検討したい。

【 配付資料 】

< 参考資料 >

1 第87回経営協議会議事要旨(案)

< 協議資料 >

1-1 国立大学法人を取り巻く最近の動向について

1-2 国立大学協会意見交換会(研究振興局)

< 審議資料 >

1 2019(平成31)年度予算編成方針(案)について

2 国立大学法人山口大学学則及び山口大学大学院学則の一部改正について

< 報告資料 >

- 1 2019（平成 31）年度運営費交付金等予定額について
- 2 平成 31 年度一般入試志願状況について
- 3 女性比率向上のための取組

< その他資料 >

- 1-1 山口大学の主な動きー平成 30 年 12 月～平成 31 年 2 月ー
- 1-2 文科省エントランス企画展示